

News Letter

2000.1.27No.2

今月のMENU

近況報告

理事会報告

教育シンポジウムの報告

今後の予定

協会近況報告

第2号のニュースレターをお届けいたします。今年は教育改革が具体的に大きく動く年です。全国各地での活動をよろしく願いいたします。

さて、前回のニュースレター以後の1月までの協会近況について報告をいたします。

右の表が前回のニュースレター以後の主な動きです。これを見てもおわかりのように、協会の対外活動には大きく2つの流れができつつあると思います。

1つは行政との関係作りです。これは文部省だけではなく、地方自治体との関係作りがあり、今年の4月以降にはじまっていく英会話の民間委託との関係が大きく、今年の春からは具体的に民間の力をもって教育を担っていくことになりそうです。

長野県茅野市の矢崎市長は行政に民間活力を導入していることでは有名な方ですが、今回の英会話の民間委託を契機に、NPOを窓口にして教育にも民間活力の導入を図りたいという打診があり、協会としても積極的にこれを進めていこうと考えています。

今年に入って栃木県大田原市の市長も同じ様な観点から我々に接触があり、文部省からも同省がすすめる教育ボランティア100万人計画との関係での協力要請が来ており、政策課の寺脇課長、担当の生涯学習局などとの交渉に入っていきます。

もうひとつは私立学校との関係です。協会にも私立学校の関係者の入会がはじまっており、教育を変えていくためにはこういった私立学校との協力関係が必要となってきました。

そこで、私立学校の今後の教育改革へ向けての試行を支えるため、1月の教育シンポジウムは私立学校をテーマに、岐阜の富田学園を会場にして開催します。

(次ページへ続く)

この間の主な出来事

11月1日 第4回理事会開催

11月10日 松香フォニックス研究所訪問

11月13日 上里先生「幼時鍛錬」出版記念会

11月19日 大阪クラブで講演

11月19日 四方先生国連大学で講演

11月21日 岡山ひのき20周年パーティー参加

11月23日 文部省生涯学習課との会合

11月26日 長野県茅野市矢崎市長との会合

12月3日 広島市私立山陽女子主催講演会で講演

12月5日 第2回教育シンポジウム(栃木)開催

12月10日 東京私立中延学園教育研究会で講演

12月11日 京都市で教育シンポジウムを京都未来教育フォーラムと共催

12月15日 岐阜市私立富田学園で第5回の教育シンポジウムの打ち合わせ

12月16日 協会の中中部地区会議開催

12月17日 文部省の民間教育事業者協議会出席

12月20日 長野県茅野市長と2回目の会談

12月22日 文部省生涯学習課との会合

12月30日 全国新学力テスト申込締め切り

12月30日~1月4日 正月休暇

1月6日 栃木県大田原市より協力関係の打診

1月12日 長野県茅野市教育長と会合

1月16日 栃木県小山市で協会の説明会開催

1月21日 岩手県盛岡市で教育改革の講演

1月22日 宮城県仙台市で教育改革の講演

1月23日 第5回理事会開催

1月27日 教育ボランティア100万人計画について文部省寺脇氏と会合

1月30日 第3回教育シンポジウム開催(岐阜)

1月31日 愛知県豊橋市で教育改革の講演

さて、それ以外の各出来事について簡単に説明して参ります。

11月10日松香フォニックス研究所を訪問して、英会話の民間委託に向けたプログラムと教材・教具についてご意見をお伺いしました。松香洋子先生は前回のニュースレターにもご紹介しましたが、玉川大学で教鞭をとられながら、長年、民間で小学生の英会話教育にたずさわってこられました。

先生には協会の特別顧問にご就任いただき、今後の協会の英会話教育についての指針をお示しいたごき、協会としても官民協力の第一歩となる英会話の民間委託に向けた活動を進めていく所存です。

この活動にご興味のある方は協会のホームページの掲示板を通じて情報を提供して参りますので、ご覧下さい。

11月13日に開かれた上里先生の出版記念パーティーはとても盛大でした。協会の特別顧問をお願いしている上里先生の「幼時鍛錬」という本は教育に関心がある方なら、きっと大いなる発見があると思います。また、教育に携わる方なら絶対に目を通して置かれることが必要だと思います。必要な方は協会にお申し出下さい。

11月21日に20周年パーティーが開かれた岡山ひのきという学習塾は生徒を断るのに明け暮れている私塾です。自学自習を基本としたこの私塾のあり方に今後の教育の在り方を示唆するところが多いと思います。

12月5日に第2回教育シンポジウムを開催栃木で開催しました。参加者が少なく残念でしたが、内容はとてもすばらしく、今後の協会の活動に向けて大きな示唆を与えていただきました。

また12月11日に京都市で教育シンポジウムを京都未来教育フォーラムと共催しました。このシンポジウムには協会から吉田代表理事と多田監事がパネラーとして登壇し、文部省の寺脇氏も出席しました。

この2つシンポジウムの内容に関しては別途文書を作成いたしますのでご覧下さい。

12月17日に文部省の民間教育事業者協議会があり、役員3名が出席しました。

この協議会は民間と行政の意見交換会です。文部

省から参加の打診がありましたので、今回から協会もメンバーに加わりました。内容に関してはホームページをご覧ください。

なお、この出来事では取り上げられなかったのですが、大学公開講座の準備が始まっています。中部地区は名城大学に決定し、中国地区は文部省から岡山大学を紹介され、この大学の農場をつかった講座が用意できそうです。関東地区は東京大学と千葉大学に、関西地区は京都大学に交渉中です。ご期待下さい。

東京の事務所は今年も千客万来、また東奔西走ですが、2000年から2002年までが日本の教育の大きな変革期です。特に教育ボランティアの組織化がはじまって参りますので、会員の皆さんもぜひ登録いただき、教育現場の具体的な活動にご協力をお願いいたします。

(記：吉田 博彦)

全国の会員の動向

現在の会員数 322名

岩手県 教育関係者が教育協同組合「作人館」を結成し、協会に参加しています。野外体験などに民間から取り組み、新しい民間教育事業を立ち上げていこうとしています。そのため、県の教育委員会とも協議していくことになっています。

栃木県 教育支援協会に参加する学習塾を中心とした会員の新年会がありました。そこで、活動の中心となっている坂本進学教室の坂本さんが鹿沼市教育委員会の越田氏と会って今後の協力関係を確認し、官民協力体制構築に向けて県にも働きかけることになったことが報告され、今後の活動の方向を確認しました。

長野県 会員のいずみ書房を中心に活動を進めています。協会の活動を茅野市長が支持してくれ、茅野市教育委員会と教育の民間委託に向けたモデル作りを始めています。松香先生の講演会を開催し、パンフを教育委員会から学校を通して配布してもらいました。

岐阜県 会員の時学館と私立富田高校が中心となって岐阜のシンポジウムの準備を進めています。

第3回 日時 平成12年1月23日(日)

場所 教育支援協会東京事務所

出席理事 吉田・若狭・岩井・須田、欠席佐々木・一杉

1. 審議事項

(1) 来年度の事業活動・事業実施について

(2) 来年度予算案作成に向けた討議

2. 議事の経過の概要および議決の結果

文部省より委嘱された「民間営利社会教育事業者団体等事務連絡協議会」への参加について、当協会にとって現況では大きな意味はないものの、協議会活性化のためには参加の必要性があるとの意見が出され、今後も参加することになった。

小学生英会話の民間委託について、長野県茅野市との協力関係および松香フォニックス研究所との連携について議長より報告があり、今後の協力関係を強化することを確認した。そして、今年の4月よりはじまる全国での小学生英会話の民間委託について、会員の居住する、もしくは商圏のある地域での英会話事業の進め方、また将来の英語以外の民間委託を見据えた人材派遣等について担当者会議を2月中に実施することが提案され、了承された。

野外体験学習・理科実験教室について、会員が今年度企画している計画案を提出し、参加費等を考慮して協会の企画として文部省に提案する。協会の事業とすることで、実施団体と協会との間で業務委託契約を結ぶこととなり、その説明会を実施することが了承された。

大学公開講座について、岡山大、名城大に続いて千葉大が候補にあることが報告され、実施に向けた具体案を作成することになった。

全国新学力テストについて、現時の申込状況が報告された。

ファミリーフォーラム事業について、実施に向けての寄付金が集まらないとの報告がなされた。

民間教育推進機構(任意団体)との協力について、「子ども芸文大賞」への協力が提案され、了承された。

(2) 11月分までの経理状況について報告された。

次年度予算作成に向けて、広島・中部地区について予算案および事業計画を作成することが要請され

た。それにともない、地区本部のあり方について、議長より1会員1支部の考え方が提案されたが、なお継続して討議することとなった。

会費徴収について、クレジットカードを作成して会費の自動引き落としをする案が提案されたが、初期登録料、手数料等で否決された。

教育シンポジウム(栃木)の実施報告

昨年12月5日に栃木県小山市の市民会館で教育支援協会主催の「教育シンポジウム」を開催した。

(協力:文部省民間教育事業室、坂本進学教室)

最初に吉田代表理事から東京でのシンポジウムでの討議内容が紹介され、「民間と協力してやっていきたいが、少なくとも子どもたちが混乱しないように、民間にも同じ方向性は持ってもらいたい。」という東京都教育委員会の大澤課長の発言が紹介された。そして、今回はこれを基に、具体的に公教育と民間教育の協力の方法がテーマだという説明が司会者よりあった。

パネラーの紹介の後、文部省の栗原氏より教育改革の流れと入試改革への取り組み等が紹介され、その後、民間との協力の方法について討議が、特に今年の4月からはじまる小学生英会話の民間委託などについての議論がすすめられた。

その中で鹿沼市教育委員会の越田氏より「今回の改革では大人が夢をもつべきだ。学校だけが教育をやるのではない、という認識は今や常識になっている。我々の市では放課後に民間からプログラムを提案してもらって、塾の先生に学校で指導をしてもらっている。」という報告があった。文部省の栗原氏も「今回の小学生英会話の民間委託は今後の民間との協力関係のモデルケースだ。」と文部省の考え方を述べた。

そして、学習塾の立場から坂本氏が「民間教育もその方向に向けて協力できるように仲間に呼びかけたい。」との意見がのべられ、この4月からはじまる小学生英会話の民間委託に向けた積極的な取り組みを約束した。(くわしい議論内容に関しては後日送付)

今後も市民の前で行政側と民間が立場を越えて議論していくことを目的に教育シンポジウムを全国各地で開催していきたいと思いますので、希望される会員は事務局までご連絡下さい。

会員の皆さんへ

引き続き会員の募集をお願いします

NPOは会員が多いことがイコール「公共性が高い団体」と考えられています。2001年秋にはNPO法案の改正が予定されており、その段階で税制上の優遇措置も検討されますので、それまでに会員数を3千名前後にしていきたいと思えます。会員の皆様のご協力をお願いします。

教育ボランティアの組織化の準備を進めています

2002年にはじまる「総合的な学習活動」では様々な教育活動が想定されています。そこでは教科指導だけでなく、農作業の指導や伝統工芸の技能などが必要とされます。文部省も教育ボランティア百万人計画を今年度策定し、協会もこれに協力していく所存です。そのために教育支援協会では「こういうことなら子どもたちに指導できる」という方々の組織化をはかり、各地域でボランティアグループを準備しています。指導者の年齢は問いません。情報をホームページにお寄せ下さい。

協会ホームページが新しくなりました

教育支援協会のホームページはこれまで海外子女のための情報発信に使用しておりましたが、今回のNPOの認証に伴い会員相互の意見交換や体験学習の発表の場として使用できるように、掲示板機能を設けました。どうかこれを活用いただき、各会員からの情報発信をお願いいたします。

もちろん、会員の方々に教育活動に携わっている方々場合、その運営に対する意見交換・情報交換に使用されても結構です。使用方法に関しては何の制限もありません。ご活用下さい。

ホームページアドレス

<http://www.alc.co.jp/oss/oss4/super.html>

来年度役員立候補者の募集

来年度は教育支援協会の役員改選期に当たっております。役員の任期は2年です。2月末日まで立候補者を受け付けますので、立候補される方は協会事務局までお知らせ下さい。なお、くわしいことは定款をご覧いただくか、協会事務局へお問い合わせ下さい。

Schedule

2月26日 教育シンポジウム in 長野

3月5日 第6回理事会(東京予定)

3月 日 教育シンポジウム(鹿児島)

4月9日 教育支援協会総会

4月16日 全国新学力テスト

4月 日 教育シンポジウム(静岡)

日時未定

開催予定の会議

中部地区地区本部設立準備会

グローバルキッズクラブ準備会

小学校英会話教育協議会

大学公開講座準備会

開催予定のシンポジウム

教育シンポジウム(鹿児島)

教育シンポジウム(静岡)

教育シンポジウム(福岡)

教育シンポジウム(石川)

会員総会のご案内

本年度は4月9日(日)に決定いたしました。協会では定款に基づき、3月末に会計を締め、決算を行い、会員総会を行います。その上で、特定非営利活動法人として、法令に基づき会計報告・活動報告を経済企画庁に行います。本総会では本年度の事業計画・予算などの決議を行い、協会の方針を決定いたします。会員の皆様にはご都合お繰り合わせの上、ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。なお、総会は賛助会員の方の傍聴も可能です。

議事内容

本年度事業計画

決算の承認、予算の議決

役員の改選

教育支援協会

〒105-0003 東京都港区西新橋3-23-5 御成門郵船ビル12階

東京事務局

03-3434-0352 FAX 03-3434-0353 E-mail super-k12@mua.biglobe.ne.jp

中部連絡事務所

052-800-1055